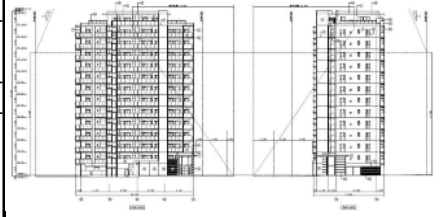


# CASBEE<sup>®</sup> さいたま2016年版 | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版 使用評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.1.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)武蔵浦和プロジェクトIV新築	階数	地上14階
建設地	埼玉県さいたま市南区白幡3丁目8	構造	RC造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	200 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年9月 0.0	評価の実施日	2017年8月25日
敷地面積	1,168 m <sup>2</sup>	作成者	(株)橋建設設計事務所
建築面積	392 m <sup>2</sup>	確認日	2017年9月5日
延床面積	4,046 m <sup>2</sup>	確認者	(株)橋建設設計事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.3**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.7

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
外観は街並みに調和するよう落ち着いた色彩計画とした。		
住戸主開口を南東面に向け良好な住環境となるように計画した。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
住戸のサッシはペアガラスを使用し、熱負荷低減に配慮した。	ゆとりのある階高としている。	1階を全て共用部とし居住者のプライバシー確保に努めた。
外壁に断熱材を用い省エネルギーに配慮した。	バリアフリー法の建築物移動等円滑化基準を満たしている。	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
住戸において、2方向より採光、通風がとれる計画としている。	石材、タイル等、環境に配慮した材料を採用している。	街並みに調和するよう落ち着いた色彩の外観計画としている。
Ecoジョーズを採用している。		適切な量の駐車場・駐輪場を確保し、交通負荷の抑制を考慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される